先達山を注視する会　第６回報告会のご案内

先達山を注視する会は、去る９月２日（火）福島県知事あてに先達山のメガソーラー開発工事の完了確認の留保を求める要望書を提出しました。

また、この中で、開発工事によって土砂崩れ・地すべりの危険性が高まり、周辺住民の安全・安心が脅かされている可能性について、専門家による科学的分析・知見を盛り込んだ参考資料も提供し、県側に速やかな調査と対応を求めました。さらに、その後の記者会見では、Amp社の本会に対する不法行為について、損害賠償請求訴訟を正式に提起したことも報告しました。

今回の報告会では、今回の要望書に意見を寄せられた専門家の知見と警鐘の内容、そして本会による訴訟の意図について、詳しく報告・説明させていただきたく思います。ぜひ、この機会を通じて、住民・市民の皆様に今、先達山で何が起きているのかの最新情報を提供できれば幸いです。

日時：　2025年9月9日（火）　18:00-20:30　（開場17:30）

場所：　福島市　アオウゼ（AOZ）4F　視聴覚室
（福島市曽根田町１－１８ ＭＡＸふくしま４階）

次第：

第一部　報告　18:00-19:00　　　　総合司会　松谷基和（本会代表）

１．先達山の地質学・工事上の問題　①柴崎直明（福島大学共生システム理工学類教授/博士（理学），技術士（応用理学））

②山崎孝成（元日本地すべり学会理事兼研究調査部長/博士（理学），技術士（応用理学・総合技術監理））

第二部　報告　19:10-20:00

2．新たなる公害：先達山の「光害」の現状　　梅宮毅（本会共同代表）

3．緑は戻らない：先達山の植栽・緑化の現状　松浦陽一（本会副代表）

第三部　自由懇談　20:00-20:30

4.　先達山をめぐる法的問題・住民の権利について　花澤俊之（森の風法律事務所/弁護士）
＊オンラインで登壇